

バヌトス調報

第1404号
昭和四十九年
三月十八日
月曜日発行
Director
Koiti Mori
Editor
Shiro Oda
Rua Pres.
Vargas. 188
C.Post. 112
Fone, 40
BASTOS
C. P.
Anual
Cp. 4
40.00
Adiant

前編
18

18

なんでもどうう店

買いよい
店

人間八十にもなれば高齢ともわれる方
だから、その年齢になれば足の弱るもの
当然と云わねばならぬ。グロリアⅡの真
木さんけ八十二、三歳だが、脚力の達者
なこと、青年に劣らず、今でも旅行團に
參加して、ピアーツし、各類の景勝地など
の展望台なども先頭切って駆け昇るとい
う元気さであるが、こういう人は珍らし
く、八十以上ともなれば杖を用いる人が
多い。

吉浦秀次郎氏も健脚を誇っていたが、
昨年末あつてなく他界された、健脚は健
康につながるものだが、必ずしも長寿を
保証するわけにはいかず、時に別の入口
から病魔が入り込んで来れは万事休する
というものだ。

私は昨年ははじめ境から脚の病院を算え
やめてしまつた。散歩から帰ると疲労が
激しく、苦痛になり出したから、健康の
ため散歩が運動になつては役に立たぬ
と思つて散歩をやめたのだが、現金なもの
で、やめると間もなく脚力の減退が著
しく、コレイオへ行くのもいやになり、
買物に行くのもいやになり、男前さんに
行くのもいやになり、老人長髪族になり
かかかつてゐる。何歳はいくつかつて下
り前ですよ、七十ぐらゐの時はどうで
いたか? て? ああ、普通でしたな。コ
手了組合の工スカーダ程度でしたら手摺
なしでもさしつかえなく上下できました。
それが、六八年一月マガリヤン工ス童
をもはつたとき、式場のカマラへ行き、
帰途狭い工スカーダを降る時、どうも田
滑を欠いだようだつた。

以後脚部の保健に注意を払うように打
り、灸をすえる・鍼を打つ・マッサージ
をする・注射をする、というように、頭
腦つてきたせいか、急速に悪化する氣配
はなかつたが、快方に向うといふことも
なかつた。

今から七年前すでに老化現象を起しき
じめていたが、一べんに恍惚の人、のき
人公造翁さんよたよたになつたわけでは
なく、やられたのは脚部であつて、脳
の方はどうやら退化せず、せいぜい有名
や知友の名を忘れる程度で消んでいた

CASA TARODA

か
たようだ。最近では視力がひどく悪くなつて、新聞雑誌を読むとき、紙面に眼をひつづけるので、悪い眼が益々悪くなるためである。と判つていながら、新聞を見なければ世間の事象と断続しなければならず、ちまうど、重盛の紳白ではないが、忠ならぬとすれば孝ならず、孝ならんとすれば忠ならず。子の進退きわまつたり」と同じで、新聞を読まなければ世間と絶縁するし、読めは視力が衰う。困つたところでしゃなあ、といつてみたところで奇跡の起らぬ限り、この問題は解決せぬ。

先日ある友人が来訪し、どうかおちいさん、元気かなと、ねぎらつてくれた。元気とも云えぬ。実は、こうこう、した。元氣とも云えぬ。それが本音だろう。八十にもなつて一線で仕事ができる方々で、あんまり欲ばりなんかや。

そういうわれれば、そんなものだろう。仕事があるから気が張りつめて過勞が苦にならんのだ。もし仕事がなくなつて、人造爺さんみたいになつたら、私も獨の

太郎内屋吉加工門
電話十六番
C.P.五一一番

C.P.五
一
四

中で手をつづけんと云つたりするだろう。枕邊の人にはりたくなかったら、多忙に追いまくられ

る。
耳もとへくなつてから、懶けて対策を講じてお駄目である。七八十になつて、脚も遠者で元氣であることを望む場合は五台から「歩け歩け」を実行しなければならぬ。

通勤者を例に引くと、自宅からオーバース停留所まで歩き、勤務先の一ヶ所位二ヶ所は歩いてまた歩く。知らず知らずのうちに歩き、軽い疲労をおぼえる位ある三日位歩き、胸を張って姿勢よく前を向いて歩く。胸を張って姿勢よく前を向いて歩く。病をつけ、永年実行すれば、七八十になくなる三日位歩き、でも若い人と変わぬ健常体で居れる。私もそのくらいのことは判つていて、だか、実行できなかつたのが残念た。時間はかかる時間を使つて、歩く時間を惜んで、勤務時間になつてしまつた。

○今は、たいていの人が車をもつてゐる。ちよつと買物に行くにも、コレイオに行くに車を使うから、便利な代り、歩く時間がほとんど無いといつてよい位、今、五六〇の人が歩くことをせず、車で用事を足すことを改めなければ、私はいかと代配するのである。

工アーバスの爆発

客
トルコのジャンボ機がB-10型
が爆発してね。三月四日、パリの
郊外でね。

主
量力犠牲ですね。新聞では空中爆発じ
やないかといつてありますね。

客
飛行機の空中爆発なんてことがあ
じやないのかね。

主
誰がそんなたちの悪い、いたずらを
するんでしまう。三四五名とは又大
きと僕は思うね。

客
何か要求するなら、ハイジャックや
りますね。ただ飛行機にのつている人
を皆殺しにしたとて、何の役に立つで
しょうか。

主
客出発前に犯人が時限爆弾を仕掛けたんだ
ことがある。何の理由もなく、九十人の死傷者を出した。

Organizaçāo Rio Branco S.C.
ADVOCACIA CONTABILDADE E DESPACHOS

必 要 書 類
レジデンテ ノッタデ プロヅットール
ノッタデ コンプラス
レジボー の一切
家蓄の数、雑舎の面積・作付
面積・銀行よりの回紙
法律会計事務所
Dr. Dr. 石川雅宏

郵便 電話
一〇三番 一〇五番
一八〇番

主
ああ、あの岡本公三、とかいいま
したな。実際何の理由もなく、ですね。
キチガイだな。
客
英國人が二百五。日本人が四十八人
たな。犠牲になつたというが、英國人を狙
かたとふうわけでもあるまいし、全くわ
かわんわ。
主
しかし、まだケリラの仕事だとい
う
確証はないんでしょう。

糸
音

野菜(アルファッセ)

至急 歩合作者を求む

四五人かける家族を求めます。

条件リマキナ類は耕主負担

お聞合せは左記へ!!

Ser. Luiz Nobor Kochi
Coppagricola Sul Brasil
C. Postal 1, 13200
Rua Sabatia 600 454

判らんね。二年前チルビアの空港で、ゲリラの日本人が機関鎗擲弾射をやつたことがある。何の理由もなく、九十人の死傷者を出した。

汎パウロス連合日語学校

教職員會議開催経過日

一九七四年三月九日午後一時

於 ツーパン日語学校

決議事項

○ 第七回児童お話大会

期日 六月九日(日)午前九時

会場 アダマンチーナ会館

1 六月二日。プログラム作成に午後一時

アダマンチーナ日語学へ集合・

出場児童名、題名・ナッシュメント

講評委員並に司会者一名(各校)提出のこと。

期定日全伯児童お話発表会規定に準ず。○当日の出席者

年令・A組 一九六七一六年生れ、

(時間一分三十秒程度)

B組 一九六五十六六年生れ

(時間二分程度)

C組 一九六三一六年生れ、

(時間三分三十秒程度)

D組 一九六一リ六二年生れ、

(時間三分)

E組 一九五九一六年生れ、

(時間三分三〇秒)

役員、長谷川氏

西郷氏

木村氏

三宅氏

先生、トッパン

中島先生

バストス

阿部先生

ガラフアン

前田先生

オクルース

横手先生

アマンチーナ

豊橋先生

ガラフアン

赤木先生

丸山先生

以上

内容は児童自身の作文を中心とすること。但しA、B組(九歳まで)教科書、児童読物に取材しても宜し。

出場人員、各組三名組、但レトッパン、アダマンチーナA・B、四名、他の組の出場者少い第1名位規定より増して

ても可。

アフサツーバ日語学校授業

参観並びに懇談会

期日 四月十日(水曜日)

集合所 パラファン・ロードビアリオ

時間 午前八時二十分

自動車リ会長水島氏、副会長小澤氏

提供

作品展

期日 七月より九月中、未定

場所 トッパン市

死亡通知並に会葬御礼

次男、マノエル義治郎加藤(21歳)儀、去る三月七日午前五時、マルチノボリス附近に於て交通事故の為め死亡いたしました。依つて翌八日前十時自宅出棺バス停墓地に埋葬いたしました。此の儀辱知各位に御しらせ申上げます。

追而、葬儀当日は悪天候にもかかわらず御多忙中御会葬下され、その上過分の御香料、及び花輪など御供え下され誠にありがとうございました。実は一々御廻礼申上げねばなりませんが取込中勝手乍ら取敢えず紙上を以つて御礼の御挨拶申上げます。

一九七四年三月十日

バストス中央第三区

父 加

母 加

長男 加

三男 加

二女 加

長女 加

夫 加

祖父 加

祖母 加

叔父 加

妻 加

外祖母 加

親戚 加

友人代表 加

渡永相

辺吉

栄久

一男清同子晴三郎伸代工雄春え高

藤下藤藤
与藤
義ト隆和子美政く義
みよ太智
弟一
川

おえ

バス トス 市役所
南米銀行 バストス支店
コチア アバテドー ル
コチア 従業員 一 同
コチア ハストス 倉 庫
コチア組合ツパン倉庫
コチア組合イラフル倉庫
プラシダ兄弟商 会
バストス 南米 本願寺
バストス 仏教婦人会
バストス 連合仏教婦人会
高野山 同 信 会
州立中学三年生 B
コレジアル三年生 A 一同
A B D 野 球 部
中央 第 三 同
サウーテ区 一 同
アラサットバ南米銀行内有志
フーラビスコ商工株式会社
会葬者御 一 同

○ 事故に当たり、現場にて種々御世話を下さい
ました方々に厚く御礼申上げます。

死之通知並行乞葬御札

次男ジョエル(嬰兒)儀去る三月二日
午后二時急病乎當の効なく死亡致し
ました。故って翌三日午前十一時自
宅出棺バストス墓地に埋葬致しまし
た。葬送に際しましては御多忙中の
眞慈々御会葬下され、且つ過分なる
香料並供花の御恵供屬わり厚く御礼
申上げます。
実は御廻礼申上げねまなりませんが
勝手乍ら紙上を以て貰あえず御礼
申述べさせて頂きます。

父	父	父	父
母	母	母	母
長女	長女	長女	長女
上	山	喜	四郎
タ	タ	タ	タ
文子	文子	文子	文子
みゆき	みゆき	みゆき	みゆき
喜信	喜信	喜信	喜信
長男	長男	長男	長男

長女	久	久	母
長男	タ	タ	父
親戚代表	小	久	久
小野	喜	信	久
弘美	み	ゆ	さ

名位

恍惚の
人(連載小説)

49

敬老館の前に花木を植えた個室があり、そこへ染井吉野が見事に咲いたのを、茂造を送つて行く朝ごとに眺めるのが樂しみであったが、やがて駄雪のように散り始めて、赤い葉が翦え、それが莢縁に伸びる頃には辺り一面初夏の風が薫つていた。この辺りは緑の多い地区なのだが、光化學スモッグの名所でもある。昭子は自分が眼鏡をかけるようになつた理由を、老化と思いたくないばかりに入モックの所以だと決めていた。光化學スモッグなどという未だに得体の知れないものこそ、現代科学の産み落した恵子で、あらゆる文明病を象徴していると。だが老人性鬱症とかいう人造の文明約症状も鎮静剤によつて救われたようだ、昭子の潜伏性斜視とかも、フリズムによつて調整された。最初は抵抗のあつた眼鏡もタインプを打つときだけ掛けているとまるで赤い靴をはいたバレリーナのように、昭子はたとえは小説を読み出すと終るまで途中でやめられなくなつてしまつた。自分で氣がつかなかつたけれど、仕事だけで頭が疲れてしまつて読書意欲が消

「効くだろうね」と言つた。
「あら、あなた知つてたの、尼寺じや並
木と大蔵と牛蒡は使わないんですねよ。
精力剤なんでしょうなれ」「えらいことを知つてるじゃねいか。週
刊誌の知識かい」「違ひますよ。でも絶対に効く筈よ」
散老舗を得た知識と言い出しかねて、
ごまかしてから、ひょいと自分の爪先を
見ると、牛蒡のアクがついで爪がまつ黒
の染みている。おろじ器はすりおろすまに
動かすんできたから、指の爪もろとも黒く
なるのもあたりまだ。それにしても、
なんて凄い色だろ。昭子は慌てて石鹼
で汚れを洗い落し、その後にハンドクリ
ームで手入れをした。肌が乾くのも老化
現れでありますか。若い頃はどんなに水
の柔らかさをとり戻したものであるのに、
兵仕事をしてた後でも、拭くだけで指はすぐ
ふと、茂造はどうであろうと思いついた。
茂造の爪を切つたことがない。姑が死ん
でそろそろ半年に打るというのに、茂造
の手の爪、足の爪はどうなつているのか。
天の見てる前だと、茂造の面倒を見

退していったことに今になつて気がついた
もつと早く眼鏡をかけていいればよかつ
たと思うほどである。頭の芯に鋭い疼痛
のあつたことも不眠のせいかと思つてい
たが、眼鏡をかけてからは拭いとつたよ
うになくなつていた。昭子は再び激刺と
して、オーバーアクションで、軽装になつて
梅里の家から地下鉄で都心のビル街に通
勤していた。

ゴルデン・ウイークには、昔は親子
三人で旅行したものであつたが、この二
三年は敏が受験準備休業に入つて沙汰を
みになつていた。合格すれば来年こそは
北海道へ行こうと楽しみにしているのだ
けど、茂造を抱えていては出来ない相談
で、誰も何も言い出さない。信利は、骨
休みと称してごろごろしていたが、どう
した拍子にか鼻風邪をひいてしまつた。
「いいものを作つてあげるわ、あなたに」
昭子は台所で生まの牛蒡をよく洗い、
おろし器ですりおろした。強烈な匂いが
たつた。味噌と椎ね、熱湯を注いでスープ
を作ると、

「何んだい、これは」「風邪の妙薬よ、騙されたと思って飲んでごらんさい」

味噌と混ぜあわせると意外なくらい匂
いが消えていた。信利は半信半疑で妻の
頬をときどき見ながら飲みくだして、首
を捻つている。

「牛蒡を生ですりおろしたのよ。お味噌
も煮たてないから、おいしいでしょう」
生の牛蒡と聞いて、信利が感心したよ

一金 封 御 礼

故加藤義治郎の香草送として御礼申上げます

加藤義高様 高野山同信会

来る三月三十日 日曜日

御案内

金一封 御礼
バス連合仏教婦人会
加藤義高様 バス連合仏教婦人会

幸故各死者の供養 法要

御通知 和歌山県人へ

永代経 午後一時から
彼岸法要 午後八時から

久しぶりに県人会を開きたいと思いま
すので、

○来る三月二十四日(日)森川食堂に
於て午後一時から開きますから、萬
障御繰り合わせ御出席下され度、御
願い申しあげます。 県人会

和歌山県人各位
一協議事項 県聯合報開館式祝賀の件、
会員名簿作成の件、

副知事、県議員来伯の件、

参勤ブブルテンチ南米本願寺
渡辺文昭開教師

右の通り厳修仕りますから、ど
うぞ、皆様お説い合つて御参詣
下さいますよう、御案申上げま
す。

合掌

バスバス南米本願寺

トヨツリズモを御利用下さい

三月二十九日(日)航ジャンボ
六月十七日(欧洲廻り)八月・九月 本年度最終便

訪日をなさるの方は

TOYO INTERNACIONAL TURISMO LTDA

皆様の御便宜を計り、一千ドル迄、三菱銀行より、六ヶ月より二年迄の
長期融通の御せ話を致します。

なお、東洋文化研究会リという社がありまして、飛行機便取扱い上の問
題を起した由ですが、それは当社とは何ら関係はありません。

御訪日の方は左記へ御相談下さい。

代理店 守美ホーテル

PS

4

文協役員会

事業

宮崎 将義 分

カスカッタ区長 佐藤

豊島 喜市 豊

会長 蘭田 春一

文化

杉藤 分

森重ダニエール 大名門政利

豊島 喜市

小茂田光陽

産業

水野耕作

工スペラントラ区長

三浦慎介

小澤村男

演芸

中浦三司

アルト区長

北谷清家

島本登森

会計

野村喜一

代議員長

大野正一

永吉久男

書記

守佐美宗一

サウード区長

原谷清寛

佐久高廣

總務

石川雅宏

グロリア工区長

大野正一

佐久木穎人

会計

浅川義範

ウニオン工区長

原谷清寛

守屋正三

衛生

森下義春

柳原五区長

柳原五区長

守屋正三

法務

小林茂樹

井喜一

柳原五区長

守屋正三

業務

森下義春

永吉久男

柳原五区長

守屋正三

財務

森下義春

柳原五区長

守屋正三

人事

森下義春

柳原五区長

イ・ジストリアコメル・オ・デ・ラ・ジン支
ラ・ジン・SOCIL代理店
バストス・リミニツタ・ダ

養鶏家の皆様へ

へ

養鶏家の皆様へお知らせいたします。

当店は常時抗生素、化学药品、消毒剤、むしくだし、コリーザ、ワクチン、バシシーナ、その他の薬品をそろえてありますので、御利用下さい。

ソッケデカラシヤス街

二八〇番地

森

電話 三四二番

三月十七日(日)九時半、十八日(月)八時

東映 純 天然色 日本侠客伝 刀(とす) 票狀俳優陳純出演

男の豪傑と天然色のドスが、さびしく散らした空の花ノ渡世一匹返り血を浴びる北陸路!

三月十九日(火)二十日(水)両夜とも八時

松竹

総天

黒色

愛と死の旅路に吹きつける現代の孤獨ノ初夏の東京灼熱のマニア、勝利のオーストラリアに長崎口ヶ教行ノ

三月二十二日(金)八時

東宝

総天

新

黒色

(折れた杖)

殺氣はんだ嵐の中で、心の杖が折れた市をうめりどう抜く仕込み杖!

三月二十四日(日)九時半

大映

総天

然色

(死のままで死ぬ死と葉ノ風雪原野に炸裂する三四郎の山嵐ノ

三月二十六日(火)二十七日(水)両夜とも八時

松竹

総天

然色

(想い残しこ去る船に、叫ぶ「おまかせ」とぞておくれ、海の男竹脇の魅力、見る見る都がしノ

三月二十九日(金)八時

東宝

総天

然色

(二世黄門主が出現ノ事件続発ノおなじみの副将軍の痛快おしゃべり旅行ノ

三月二十三日(土)

正午より

夜九時まで

三月二十四日(日)

午前八時より

夜八時まで

会場 P.L.教会に於て

年年通り、学校給食費に寄附いたします

皆様の絶大なる御協力を賜ります

賑々しく、おさそい合わせて御来場下さい

主催 P.L.バストス教会

おしゃせ 来る三月二十三日の夜七時三十分、イグレージュにて
故小林茂 四十九日のニサを行います。

Bastos de Line

風の豪情

石坂浩二 尼崎奈々 香山美子

入川保剛

渡辺文雄 主演

高城丈二 小池朝雄

中村寅津雄

城健三郎 阿井美子

松山英太郎 池内ミキエ

坂上二郎 三木のり平

安達明 香山美子

勝呂誉 池内淳子

高島忠夫 高橋繁久

都はるみ 都はるみ

香山美子 香山美子

坂上二郎 阿井美子

城健三郎 阿井美子

松山英太郎 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

高島忠夫 阿井美子

高橋繁久 阿井美子

都はるみ 阿井美子

香山美子 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

城健三郎 阿井美子

松山英太郎 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

高島忠夫 阿井美子

高橋繁久 阿井美子

都はるみ 阿井美子

香山美子 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

城健三郎 阿井美子

松山英太郎 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

高島忠夫 阿井美子

高橋繁久 阿井美子

都はるみ 阿井美子

香山美子 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

城健三郎 阿井美子

松山英太郎 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

高島忠夫 阿井美子

高橋繁久 阿井美子

都はるみ 阿井美子

香山美子 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

城健三郎 阿井美子

松山英太郎 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

高島忠夫 阿井美子

高橋繁久 阿井美子

都はるみ 阿井美子

香山美子 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

城健三郎 阿井美子

松山英太郎 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

高島忠夫 阿井美子

高橋繁久 阿井美子

都はるみ 阿井美子

香山美子 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

城健三郎 阿井美子

松山英太郎 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

高島忠夫 阿井美子

高橋繁久 阿井美子

都はるみ 阿井美子

香山美子 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

城健三郎 阿井美子

松山英太郎 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

高島忠夫 阿井美子

高橋繁久 阿井美子

都はるみ 阿井美子

香山美子 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

城健三郎 阿井美子

松山英太郎 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

高島忠夫 阿井美子

高橋繁久 阿井美子

都はるみ 阿井美子

香山美子 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

城健三郎 阿井美子

松山英太郎 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

高島忠夫 阿井美子

高橋繁久 阿井美子

都はるみ 阿井美子

香山美子 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

城健三郎 阿井美子

松山英太郎 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

高島忠夫 阿井美子

高橋繁久 阿井美子

都はるみ 阿井美子

香山美子 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

城健三郎 阿井美子

松山英太郎 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

高島忠夫 阿井美子

高橋繁久 阿井美子

都はるみ 阿井美子

香山美子 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

城健三郎 阿井美子

松山英太郎 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

高島忠夫 阿井美子

高橋繁久 阿井美子

都はるみ 阿井美子

香山美子 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

城健三郎 阿井美子

松山英太郎 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

高島忠夫 阿井美子

高橋繁久 阿井美子

都はるみ 阿井美子

香山美子 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

城健三郎 阿井美子

松山英太郎 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

高島忠夫 阿井美子

高橋繁久 阿井美子

都はるみ 阿井美子

香山美子 阿井美子

坂上二郎 阿井美子

城健三郎 阿井美子

松山英太郎 阿井美子</p